

NECiStorage HS Lite

はじめにお読みください

Startup Guide

スタートアップガイド

2023 年 5 月 初版
IH1918-1

この度は、本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。このスタートアップガイドに従ってiStorage HS Lite の設定を行ってください。バックアップを実施できる状態まで設定できます。

本スタートアップガイドは製品添付の「iStorage HS Lite 導入・メンテナンスガイド」の簡略版です。各STEP の詳細やメンテナンスの方法については、導入・メンテナンスガイドを参照してください。

STEP1 事前準備

本製品の出荷時には以下の設定を行っています。出荷時設定内容を確認すると共に必要な情報をご用意ください(以下のメモ欄に記載して下さい)。

〔表 1〕出荷時設定内容

項	設定項目	設定内容	出荷時設定
1	Windows 管理者ユーザ	Windows にログインするアカウントとパスワード	アカウント名: Administrator パスワード: h4Pw@e7a
2	HS Virtual Appliance 管理者ユーザ	HS Virtual Appliance GUI/CLI にログインするアカウントとパスワード	アカウント名: sysadmin パスワード: sys123

〔表 2〕必須項目

項	設定項目	概要
1	Windows 管理者ユーザの新パスワード	管理者ユーザの新しいパスワードを入力する必要があります。パスワードのポリシーに従った新しいパスワードを設定してください。 (メモ) :
2	HS Virtual Appliance 管理者ユーザの新パスワード	管理者ユーザの新しいパスワードを入力する必要があります。6 文字以上 50 文字以下の半角英数字が使用可能です。パスワードの管理については、「iStorage HS Virtual Appliance 導入構成ガイド」の「iStorage HS Virtual Appliance の構築」の「パスワード管理」を参照してください。 (メモ) :
3	Windows サーバーの IP アドレス、ネットマスク、デフォルトゲートウェイ	Windows サーバーに IP アドレス(IPv4)が必要です。本セットアップでは、IP アドレスが 1 つ必要になります。 (メモ) :
4	HS Virtual Appliance の IP アドレス、ネットマスク、デフォルトゲートウェイ	HS Virtual Appliance に IP アドレス(IPv4)が必要です。本セットアップでは、IP アドレスが 1 つ必要になります。2 つ以上設定する場合は、STEP3 ⑩～⑭の手順により elan2～4 にも割り当てることができます。 (メモ) :

〔表 3〕任意項目

項	設定項目	概要
1	システム名	iStorage HS が 2 台以上ある環境で、それぞれの装置を識別するためにシステム名を入力することができます。20 文字以下の半角英数字が使用可能です。 (メモ) :

項	設定項目	概要
2	NTP サーバー	NTP サーバーと時刻同期を行う場合は、NTP サーバーの IP アドレスまたはホスト名を入力してください。 (メモ) :
3	DNS サーバー、検索ドメイン	NTP サーバーでホスト名を入力する場合は、DNS サーバーの IP アドレス、検索ドメイン名が必要です。 (メモ) :
4	CIFS または NFS ファイルシステム名	本手順で CIFS または NFS ファイルシステムを作成する場合、名前が必要です。 (メモ) :

本製品の設定時には以下が必要になりますのでご用意ください。

〔表 4〕

項	名前	備考
1	ディスプレイ装置	VGA ケーブル接続
2	LAN ケーブル	1000Base-T 接続

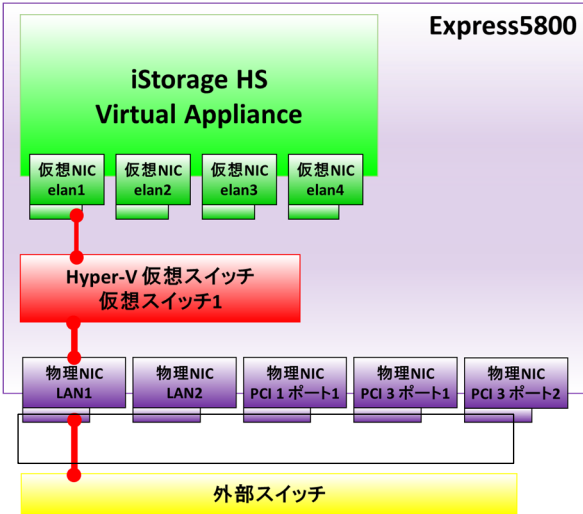
STEP2 Express5800 サーバーの起動

Express5800 サーバーが使えるようになるまでの手順は、Express5800 のスタートアップガイドを参照してください。

- Express5800 サーバーの電源を入れます。
- Windows 管理者ユーザでログインします。〔表 1〕出荷時設定内容を参照してください。)

STEP3 運用環境設定

LAN1 に接続した仮想スイッチを作成し、HS Virtual Appliance の仮想 NIC elan1 を作成した仮想スイッチに接続する手順を示します。これにより、仮想 NIC elan1 が LAN1 を経由して外部のネットワークに繋がります。



【 1. LAN ケーブルの接続 】

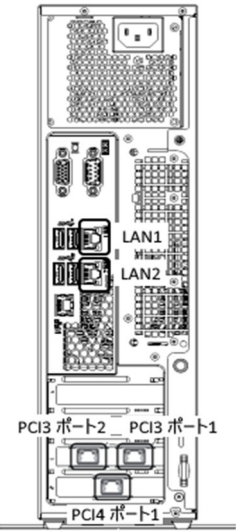
外部のネットワークと通信できる LAN ケーブルを LAN1 に接続してください。Express5800 の LAN コネクタの位置は右図の通りです。

Note 3TB モデルの場合は、LAN1 と LAN2 のみになります。

また、Windows サーバーをネットワークに繋げるために LAN1 のネットワーク設定〔表 2〕項番 3) を行ってください。

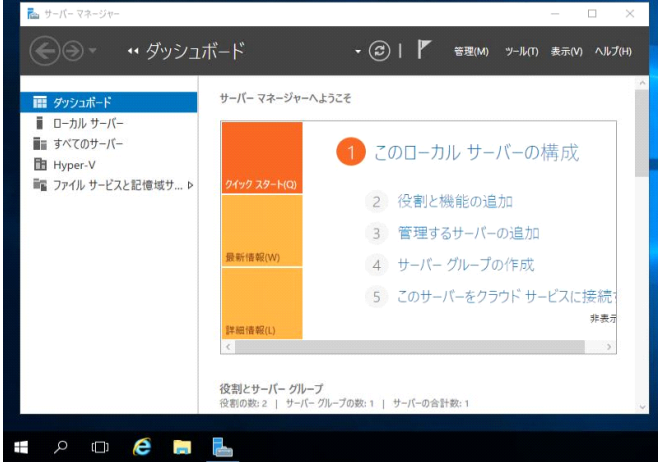
「コントロールパネル」→「ネットワークとインターネット」→「ネットワークの状態とタスクの表示」→「アダプター設定の変更」を表示させます。

「LAN1」をダブルクリックし、「インターネットプロトコルバージョン 4(TCP/IPv4)」を選択し、「プロパティ」をクリックすることでネットワーク設定画面が表示されます。

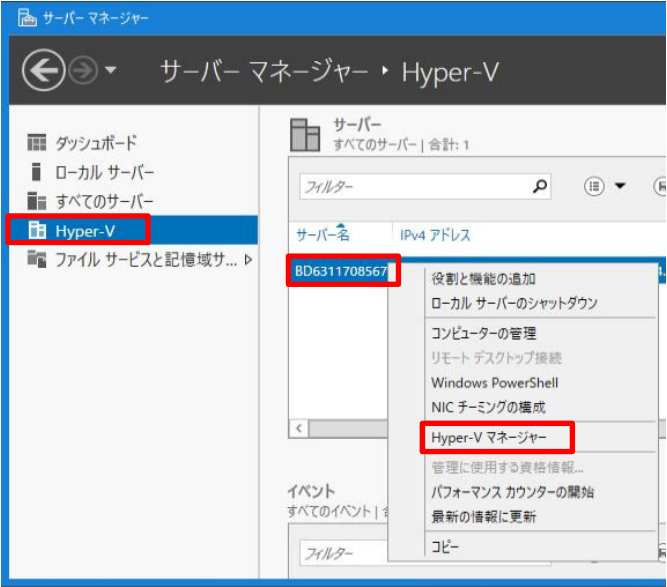


【 2. 仮想ネットワークの設定 】

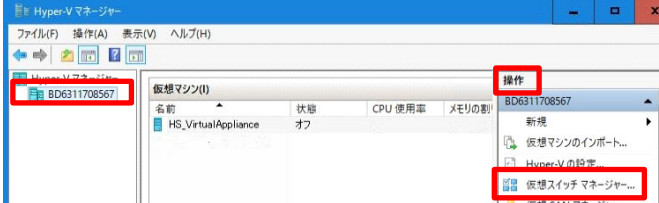
- サーバーマネージャーを表示させます。ログイン時に自動起動したサーバーマネージャーを終了させた場合、スタートメニューからサーバーマネージャーを起動してください。



- 「Hyper-V」を選択します。その後、「サーバー名」(サーバー名は工場出荷時に設定されています)を右クリックし、「Hyper-V マネージャー」をクリックします。



- 「Hyper-V マネージャー」にある「サーバー名」をクリックします。「操作」にある「仮想スイッチマネージャー」をクリックします。



- 「外部」を選択し、「仮想スイッチの作成」をクリックします。ここで作成した仮想スイッチは、HS Virtual Appliance と外部ネットワークを繋ぐために使用します。

- 作成する仮想スイッチの「名前」に「仮想スイッチ 1」を指定します。また、仮想スイッチに接続する「外部ネットワーク」に LAN1 に対応するデバイス名を選択し、「OK」をクリックします。

Note 対応するデバイス名に関しては、「コントロールパネル」→「ネットワークとインターネット」→「ネットワークの状態とタスクの表示」→「アダプター設定の変更」から「ネットワークの接続」画面で確認してください。



「ネットワークの接続」画面の例

「管理オペレーティングシステムにこのネットワークアダプターの共有を許可する」にチェックがついていることを確認してください。

その後、「ネットワークの変更を適用」ダイアログが表示されますので、「はい」を選択します。

Note 設定後、Windows から外部ネットワークへアクセスができなくなった場合は、「コントロールパネル」→「ネットワークとインターネット」→「ネットワークの状態とタスクの表示」→「アダプター設定の変更」を選択し、「vEthernet(仮想スイッチ 1)」に Windows の IP アドレスが設定されているか確認してください。設定されていない場合、Windows の IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS サーバーの設定をしてください。

- Hyper-V マネージャーの「HS_VirtualAppliance」を右クリックし、「起動」を選択します。

- Hyper-V マネージャーの「HS_VirtualAppliance」を右クリックし、「接続」を選択します。
- 新規のウィンドウが開きコマンドプロンプトが表示されます。以降のコマンドは、本ウィンドウで実行してください。

- 「Login:」が表示されたら以下のユーザ名を使用して HS Virtual Appliance にログインします。

SN0101 Login: sysadmin
Password:sys123 ←キーボード入力は表示されません。

Note 「Login:」が表示されるまで数分かかる場合があります。

Note パスワードの変更は「6. HS Virtual Appliance のセットアップ」で行います。

- デフォルトゲートウェイの設定（任意）
「x.x.x.x」には HS Virtual Appliance のゲートウェイ IP アドレスを指定してください。(〔表 2〕項番 4)

MySystem1# route set destination=default gateway=x.x.x.x

付属の日本語キーボードを使用している場合、「=」は、「^」と記載されているキーで入力できます。

不正なゲートウェイを指定して route set コマンドを実行した場合、route clear コマンドで削除した後に route set コマンドを再実行する必要があります。

Note コマンドが正常終了した場合には、出力の最後に「ExitStatus:0」が表示されます。それ以外が表示された場合には、入力誤りの可能性があります。入力内容を確認し、再度コマンドを実行してください。以降のコマンドでも同様の方法で正常終了したか確認できます。

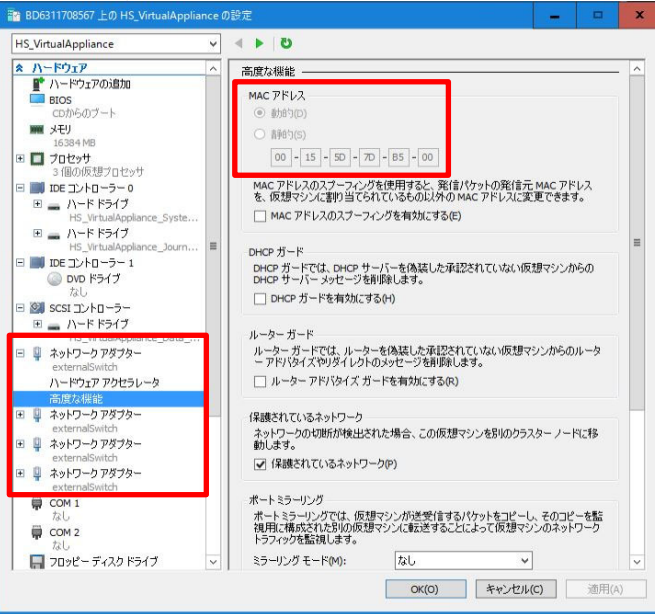
- elan1 に対応付けられている Hyper-V の仮想ネットワークアダプターを特定します。「HWaddr」の横にある値が elan1 の MAC アドレスです。

MySystem1# net check cmd=ifconfig port=elan1
elan1 Link encap:Ethernet HWaddr00:15:5D:A4:7D:05
(省略)

Note 入力内容を間違えた場合、ヘルプメッセージが表示されます。このヘルプメッセージを終了するためには「q」を入力してください。

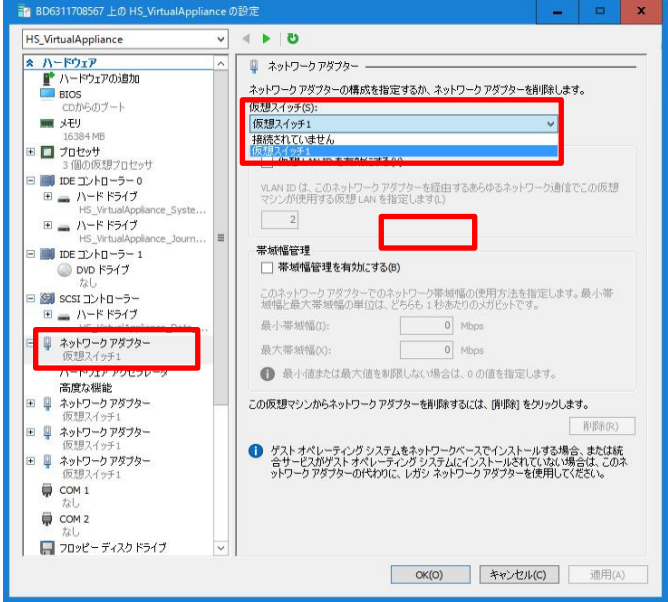
(メモ) elan1 の MAC アドレス:

「Hyper-V マネージャー」の「操作」の「設定」を選択します。左側のツリービューの中に「ネットワークアダプター」が 4 つ存在していますので、それぞれについて「高度な機能」を選択し「MAC アドレス」を確認します。同じ MAC アドレスを持つ Hyper-V の仮想ネットワークアダプターを特定します。



裏面へつづく

- ⑪ elan1 と同じ MAC アドレスの「ネットワークアダプター」を選択し、「仮想スイッチ」のプルダウンメニューから、「仮想スイッチ 1」を選択します。「OK」をクリックします。



- ⑫ net status show コマンドを実行し、elan1 が表示され、Status が up になっていることを確認します。

MySystem1# net status show					
Network Status	NodeID	NodeType	Port	VLAN-ID	IPAddress
		Speed	Duplex	Failover	
External	SN0101	Storage	elan1	-	x.x.x.x
up		1Gbps	full	-	
ExitStatus:0					

Note Status が down の場合は暫く待って、再度 net status show コマンドを実行して確認してください。

- ⑬ net set コマンドを実行し、HS Virtual Appliance の elan1 に IP アドレスとネットマスクを設定します。「x.x.x.x」には IP アドレスを指定してください。「y.y.y.y」にはネットマスクを指定してください。([表 2] 項番 4)

```
MySystem1# net set port=elan1 address=x.x.x.x mask=y.y.y.y noconfirm
```



169.254.0.0/16 を HS Virtual Appliance の IP アドレスに割り当てる場合

「iStorage HS Virtual Appliance 導入構成ガイド」の「予約/内部 IP アドレスの変更」を参照してください。

- ⑭ net test コマンドを実行し、ネットワークが正しく設定されているか確認します。「x.x.x.x」には ICMP エコー応答(ping 応答)可能な別のマシンの IP アドレスを指定してください。ICMP 通信できた場合、「ExitStatus:0」が表示されます。

```
MySystem1# net test port=elan1 type=external destination=x.x.x.x
Succeeded to test using the ICMP packets. : node=SN0101,port=elan1
ExitStatus:0
```

elan2~4 にも IP アドレスを割り当てる場合、elan1 を読み替えて⑩~⑭の手順を実行してください。なお、3TB モデルの場合は、外部のネットワークに繋がれる elan の数は最大 2 つまでです。

【 3. ライセンス解除とストレージの初期化 】

- ① 本製品の出荷時の状態では、各ライセンスは解除されています。HS Virtual Appliance の導入を再び行った場合には、ライセンスの解除が必要です。その際は本製品に添付されている「iStorage HS Lite (基本 1TB) リリースメモ」および「iStorage HS Lite アップグレードキット (1TB 容量増設) リリースメモ」を参照してください。

- ② ストレージを初期化します。

```
MySystem1# storagedevice initialize noconfirm
```

4TB モデル、または 6TB モデルの場合、以下のメッセージが表示されますが、問題はありません。

Total size of attached disk(s) is greater than licensed capacity.
Remaining area won't be used unless additional license(s) are unlocked.

- ③ logout コマンドを実行しログアウトします。

【 4. システム状態の確認と性能統計収集の設定 】

- ① 10~15 分後に「HS_VirtualAppliance」に再度ログインします。

```
SN0101 Login: sysadmin
Password: sys123 ←キーボード入力には表示されません。
```

- ② システムの状態(Status)が Normal であることを確認します。

```
MySystem1# system status show
(省略)
Status Normal
```

ストレージを初期化後、システムの状態が Normal になるまでに 10~15 分かかります。Normal になるまでシステムを使用しないでください。

- ③ 性能統計収集の設定を行います。

```
MySystem1# vm-performance config set address=x.x.x.x na
me=Administrator passwd=xyz noconfirm
```

性能問題発生時の解析に使用されます。「x.x.x.x」には Windows サーバーの IP アドレスを指定してください。また、「xyz」には Windows サーバーの Administrator パスワードを指定してください。

Note 付属の日本語キーボードを使用している場合、キーボード上の表記と入力される文字が一部異なります。パスワードを入力する際には以下の対応表を参考にしてください。

【表 5】 文字と日本語キーボードの入力 対応表

文字	キーボード入力	文字	キーボード入力
@	Shift + 2	[@
"	Shift + :]	[
^	Shift + 6	{	Shift + @
&	Shift + 7	}	Shift + [
'	:	+	Shift + ^
`	漢字	*	Shift + 8
(Shift + 9	¥(バックスラッシュ)]
)	Shift + 0	:	Shift + ;
=	^	~	Shift + 漢字
_	Shift +]		

Note Windows サーバーの IP アドレスや Administrator パスワードを変更した場合には、変更後の値を指定して上記コマンドを実行してください。

- ④ logout コマンドを実行しログアウトします。

【 5. 自動開始アクションの設定 】

- ① サーバーマネージャーを開きます。
- ② 「Hyper-V」を選択します。その後、「サーバー名」(任意のマシン名)を右クリックし、「Hyper-V マネージャー」を選択します。
- ③ 「Hyper-V マネージャー」にある「サーバー名」をクリックします。「HS_VirtualAppliance」を右クリックし「設定」をクリックします。
- ④ 「管理」にある「自動開始アクション」を選択し、Windows サーバー起動時に HS Virtual Appliance を起動するが指定します。「常にこの仮想マシンを自動的に起動する」を選択し「OK」をクリックします。

【 6. HS Virtual Appliance のセットアップ 】

- ① 本製品の管理画面 (GUI) に Web ブラウザを使ってログインし、初期設定ウィザードでセットアップを行います。指示に従い設定を完了させてください。HS Virtual Appliance の GUI には Web ブラウザから以下の URL でアクセスできます。
- 「http://<elan1 の IP アドレス(表 2 項番 4)>:8585」



Windows サーバーの Microsoft Edge (Edge) を利用する場合

ブラウザのセキュリティ設定により、ログイン画面が表示されないことがあります。この場合、以下の手順にしたがって Edge のブラウザオプションを設定してください。

- Windows のスタートメニューからコントロールパネルをクリックしインターネットオプションをクリックします。
- セキュリティタブをクリックします。
- 信頼済みサイトアイコンを選択します。
- サイトをクリックします。
- 信頼されたサイトに elan1 の IP アドレスを追加します。(例 : http://192.168.1.11)
- レベルのカスタマイズをクリックし、ダウンロードまでスクロールダウンします。
- ラジオボタンを選択し、ファイルのダウンロードを有効にするにします。OK をクリックします。

本ガイド以降、Edge を使用してシステム機能を操作する場合、追加の設定が必要になります。設定内容についてはユーザーズガイドを参照してください。

- ② ユーザ名「sysadmin」、初期パスワード「sys123」を入力し、Login をクリックして、ログインしてください。初期パスワードは本ウィザードで変更します。
- ③ 初期設定ウィザードの設定概要の画面が表示されます。本ウィザードでは、【表 3】の項目を設定します。内容の確認が終わりましたら、「次へ」をクリックして、次の画面へ進んでください。
- ④ 使用許諾に関する画面が表示されます。ここで表示される使用許諾内容を確認してください。問題なければ「はい、同意します。」を選択し、「決定」をクリックしてください。
- ⑤ 「基本情報」、「ネットワーク」、「ファイルシステム」の順に入力してください。パスワードは、「基本情報」の画面で変更します。次へ進むには、「次へ」をクリックしてください。
- ⑥ 設定入力後に、「入力終了」をクリックすると入力確認画面が表示されます。入力内容を確認して、「設定」をクリックしてください。
- ⑦ 設定結果画面が表示されますので画面の指示にしたがい先へ進んでください。
- ⑧ 設定完了後、再起動を行います。「システム停止画面」では、システム停止の全ての手順が完了するまで待ち合わせてください。

HS Virtual Appliance を使用方法全般に関しては、「ユーザーズガイド」を参照してください。以上で導入のための設定は完了です。

STEP4 バックアップ

バックアップソフトウェアを使用し、バックアップを開始してください。STEP3 6-⑤の初期設定ウィザードで作成したファイルシステムをバックアップ先として指定してください。詳細なバックアップ開始手順については、各バックアップソフトウェア製品のマニュアルをご参照ください。

Note バックアップサーバーの OS が Windows 系の場合、Windows のセッションタイムアウト値を変更する必要があります。詳細は、「導入・メンテナンスガイド」の「ハードウェア障害に対する対策と対処」の「Windows レジストリの設定」をご参照ください。

【 運用を始めるにあたって 】

本製品では、他にもレプリケーション機能、マーカフィルタリング機能など多数の機能をご利用いただけます。各機能の使い方は、添付の「iStorage HS 基本制御(マニュアル) (CD-R)」をご参照ください。

本製品が提供するマニュアルの一覧は以下の通りです。

【表 6】 マニュアル一覧

名前	概要
ユーザーズガイド	HS Virtual Appliance を使用方法全般について説明しています。ユーザ管理やファイルシステム設定、システム設定(領域解放の設定など)に関しては、本マニュアルを参照してください。また、レプリケーションや改ざん防止(WORM)、データの暗号化機能を設定する場合に関しても、本マニュアルを参照してください。
構成設計の手引	HS Virtual Appliance の運用の設計方法について説明しています。以下の計画や、容量の監視を行う場合は、本マニュアルを参照してください。 <ul style="list-style-type: none">ネットワークの計画ファイルシステムの作成メール通報の設定NTP サーバの計画領域解放の計画レプリケーションの計画
コマンドリファレンス	HS Virtual Appliance で利用可能な Command Line Interface(CLI)について説明しています。CLI から HS Virtual Appliance の設定を行う場合は、本マニュアルを参照してください。
メッセージハンドブック	HS Virtual Appliance が表示または出力するメッセージを説明しています。HS Virtual Appliance のメッセージの対処方法に関しては、本マニュアルを参照してください。
CIFS 利用の手引	CIFS の設定方法について説明しています。Windows バックアップサーバーから、HS Virtual Appliance のファイルシステムにアクセスする場合は、本マニュアルを参照してください。
OpenStorage(OST) ユーザーズガイド	OpenStorage(OST)の概要や使用方法について説明しています。OpenStorage(OST)機能を使用する場合は、本マニュアルを参照してください。
ユニバーサル高速 I/O ユーザーズガイド	ユニバーサル高速 I/O の概要や使用方法について説明しています。ユニバーサル高速 I/O 機能を使用する場合は、本マニュアルを参照してください。
HS Virtual Appliance 導入構成ガイド	HS Virtual Appliance の概要や導入や構築、管理方法について説明しています。容量拡張等、HS Virtual Appliance の管理を行う際や、障害により再導入が必要になった場合に参照してください。 Note 本製品では HS Virtual Appliance は出荷時に導入済みです。

【 困った時には・・・ 】

本製品における一般的な問題とその対処方法については、製品添付の「iStorage HS Lite 導入・メンテナンスガイド」やサポートポータル(<https://www.support.nec.co.jp>) FAQ をご参照ください。

【 サポートサービスについて 】

iStorage HS Lite(スリムタワー)は、Express5800 サーバー、Windows Server、iStorage HS Virtual Appliance (ソフトウェア製品)から構成される製品であり、安定稼働させるためにはそれぞれのサポートサービスが必要です。詳細については、製品添付の「商品のご案内」の「サポートサービス」をご参照ください。

【 お問い合わせ 】

本製品に関するご質問・ご相談は弊社担当営業、お買い求めいただいた販売店または保守サービス会社にご連絡ください。